

# 令和4年度 第1回 野田市福祉のまちづくり運動推進協議会

## 次 第

日 時 令和4年6月2日（木）  
午前10時から  
場 所 保健センター3階大会議室

### 1 開 会

### 2 市長挨拶

### 3 議 事

- (1) 令和3年度福祉のまちづくり運動の事業報告について
- (2) 令和4年度福祉のまちづくり運動の事業計画について
- (3) 「令和3年度第1回福祉のまちづくり運動推進協議会」の書面表決における委員からのご意見について
- (4) 愛宕駅西口駅前広場のバリアフリー化について
- (5) 野田市駅前広場のバリアフリー化について

### 4 その他

### 5 閉 会

令和3年度福祉のまちづくり運動推進協議会事業報告

事業実施分

月	日	内 容	場 所	出席者	備 考
8	6	福祉のまちづくり運動推進協議会（書面による審議）	—	31名	
11	5	【福祉のまちづくり講座】 地域でふれあい支えあい ～ノーマライゼーションな社会を目指して～ 『障がいのある方・支える方の生活を知る』	南部梅郷公民館	14名	〈講師〉 手をつなぐ親の会 キャラバン隊「まめっこ」
11	11	『パラリンピックにみんなで挑戦！NEW スポーツ！』		16名	〈講師〉 スポーツ推進委員
11	25	①『お互いの思い～視覚障がい者から伝えたいこと～』 ②『聴覚障がい者の日々の暮らしと困りごと』		7名	〈講師〉 ①視覚障がい者協会 ②聴覚障害者協会
11	5	『パラリンピックをみんなで体験！NEW スポーツ！』	二川公民館	23名	〈講師〉 スポーツ推進委員
11	9	①『お互いの思い ～視覚障がい者から伝えたいこと～』 ②『聴覚障がい者の日々の暮らしと困りごと』		16名	〈講師〉 ①視覚障がい者協会 ②聴覚障がい者協会
11	16	『障がいのある方・支える方の生活を知る』		16名	〈講師〉 手をつなぐ親の会 キャラバン隊「まめっこ」
11	28	福祉のまちづくりフェスティバル (ふれあいハートまつり及び元気アップふえすと同時開催)	文化会館ロビー等	—	※新型コロナウイルス感染症防止のため中止

## 令和3年度バリアフリー化事業の完了について

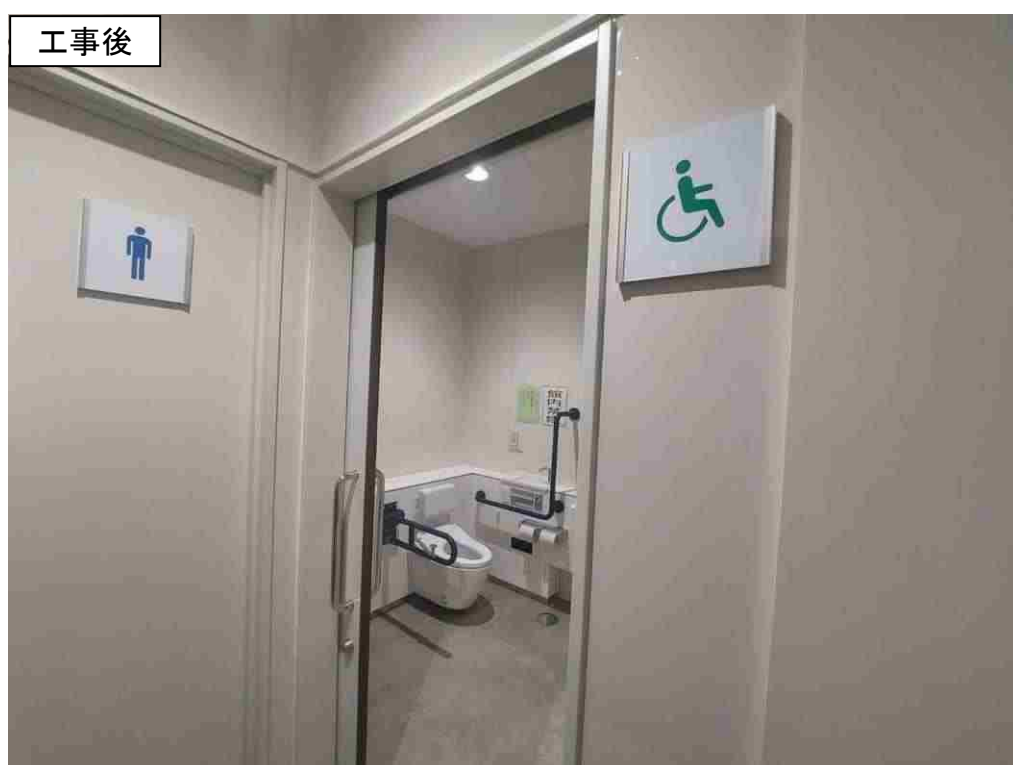
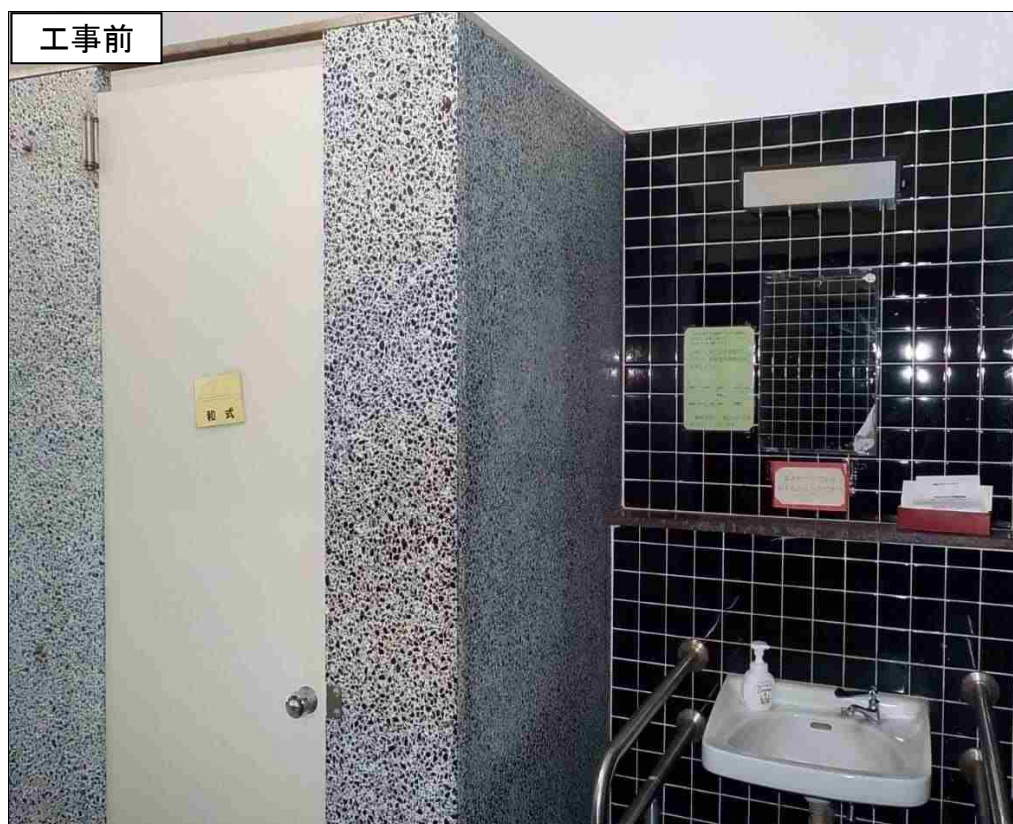
令和3年度バリアフリー化計画の2事業4工事が完了しましたので報告します。  
バリアフリー化事業

No.	工 事 名 称	工 事 概 要	実績額
1	関宿中央公民館バリアフリースイートイレ等整備事業	<p>【1階男女トイレ洋式化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洋式便器改修（2か所）</li> <li>・温水洗浄付暖房便座設置（2か所）</li> <li>・L形手すり設置</li> <li>・紙巻器交換</li> <li>・照明器具交換（LED器具）</li> </ul> <p>【1階バリアフリー対応トイレ改修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洋式便器設置</li> <li>・温水洗浄付暖房便座設置</li> <li>・L形手すり設置</li> <li>・跳ね上げ手摺設置</li> <li>・紙巻器交換</li> <li>・照明器具交換（LED器具）</li> <li>・オストメイト設置</li> </ul>	6,633,000円
2	<p>（関宿会館他1施設階段手摺設置工事）</p> <p>関宿会館階段手摺設置工事</p> <p>関宿複合会館階段手摺設置工事</p>	<p>【階段手すり設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・壁付一段手すり（1か所）</li> <li>・壁付一段手すり（2か所）</li> </ul>	1,072,500円
合 計			7,705,500円

# 1 関宿中央公民館バリアフリースイートイレ等整備事業

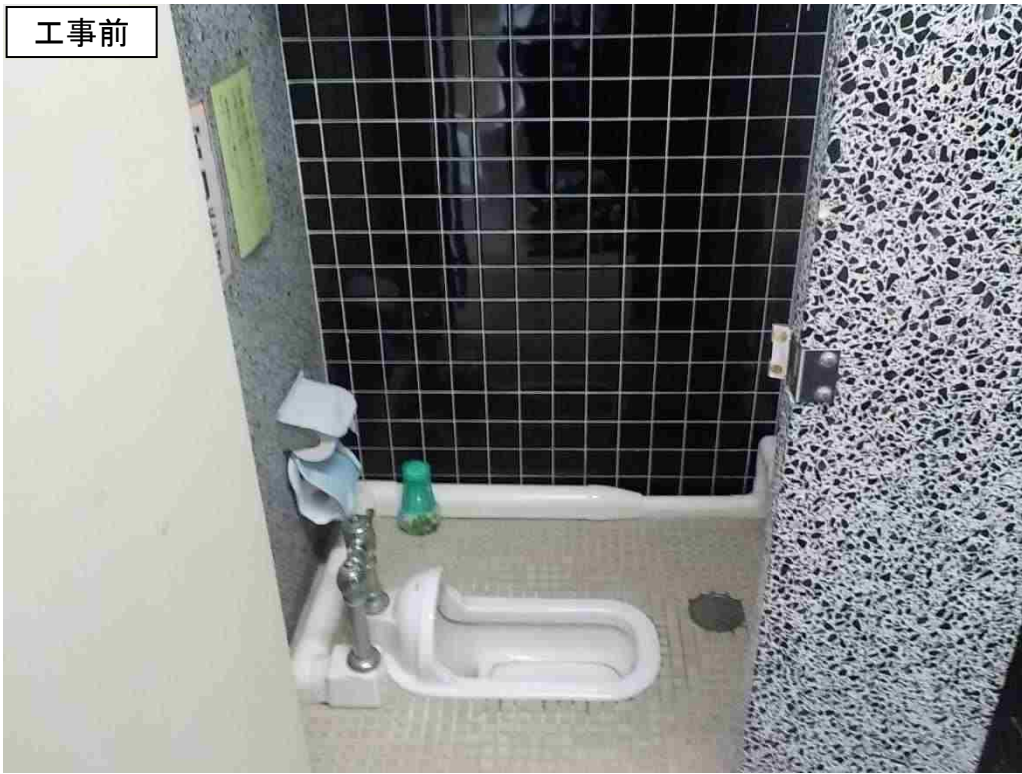
## 工事概要【1階男女トイレ洋式化】【1階バリアフリー対応トイレ改修】

- ・洋式便器改修（温水洗浄便座）
- ・L形手すり設置
- ・L形手すり設置
- ・照明器具交換（LED 器具）
- ・跳ね上げ手摺設置
- ・紙巻器交換
- ・オストメイト設置

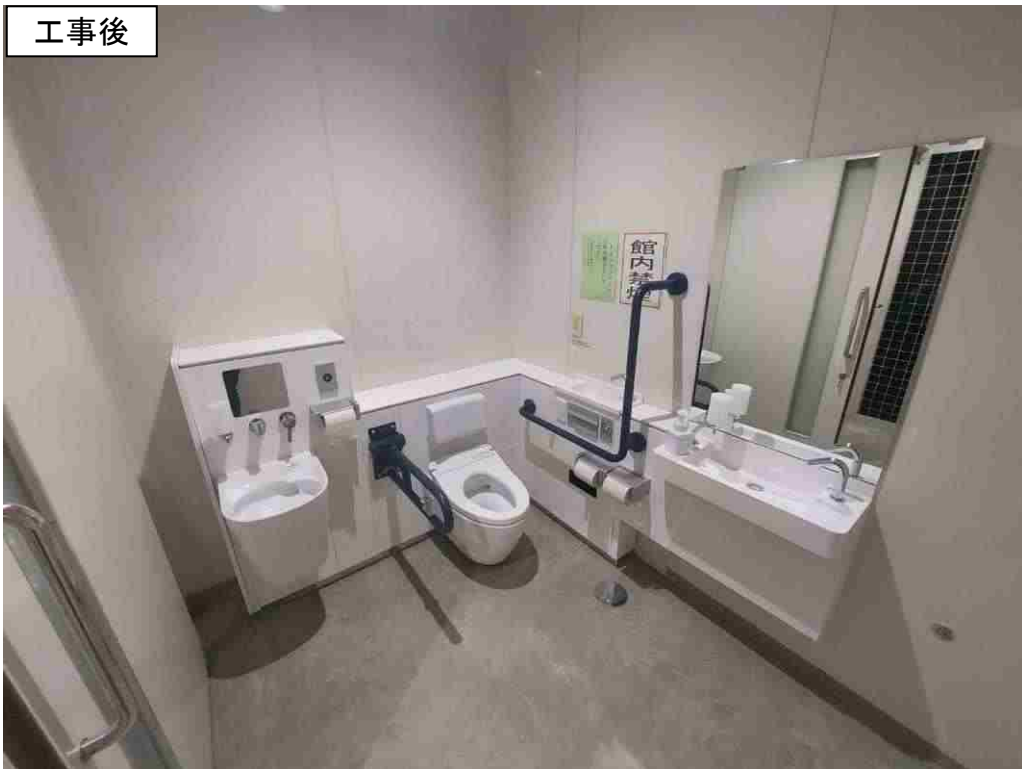




工事前



工事後



## 2 関宿会館他 1 施設階段手摺設置工事 工事概要 【階段手すり設置】

関宿会館階段手摺設置工事

- ・壁付一段手すり（1か所）

関宿複合会館階段手摺設置工事

- ・壁付一段手すり（2か所）

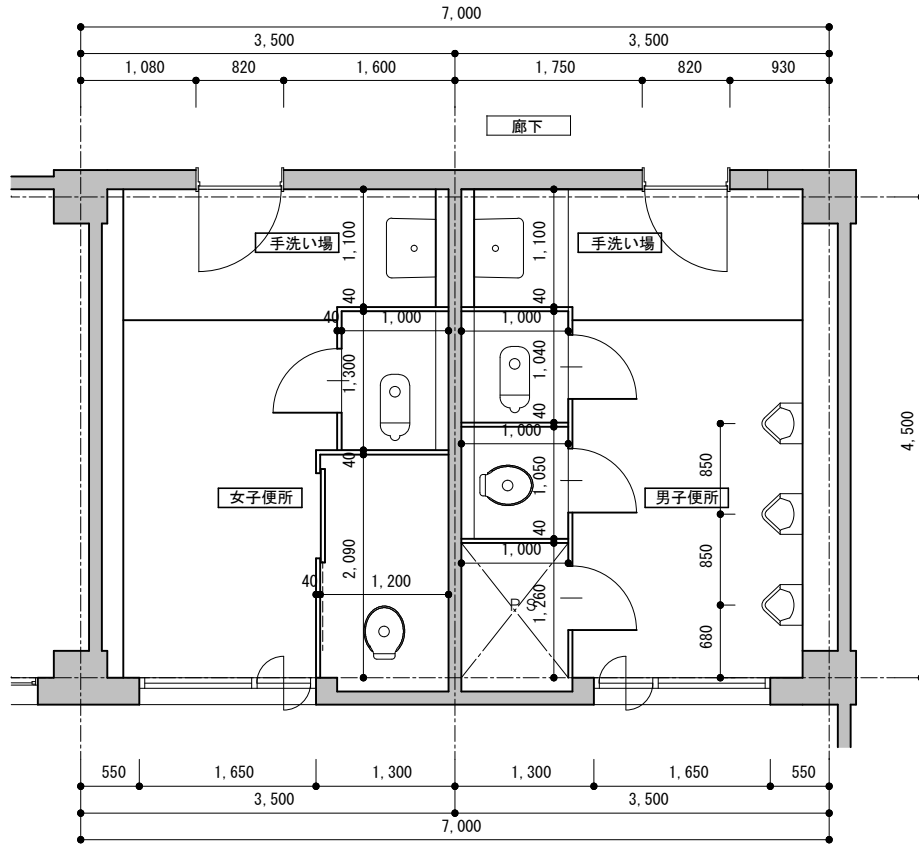
### 関宿会館階段手摺設置工事



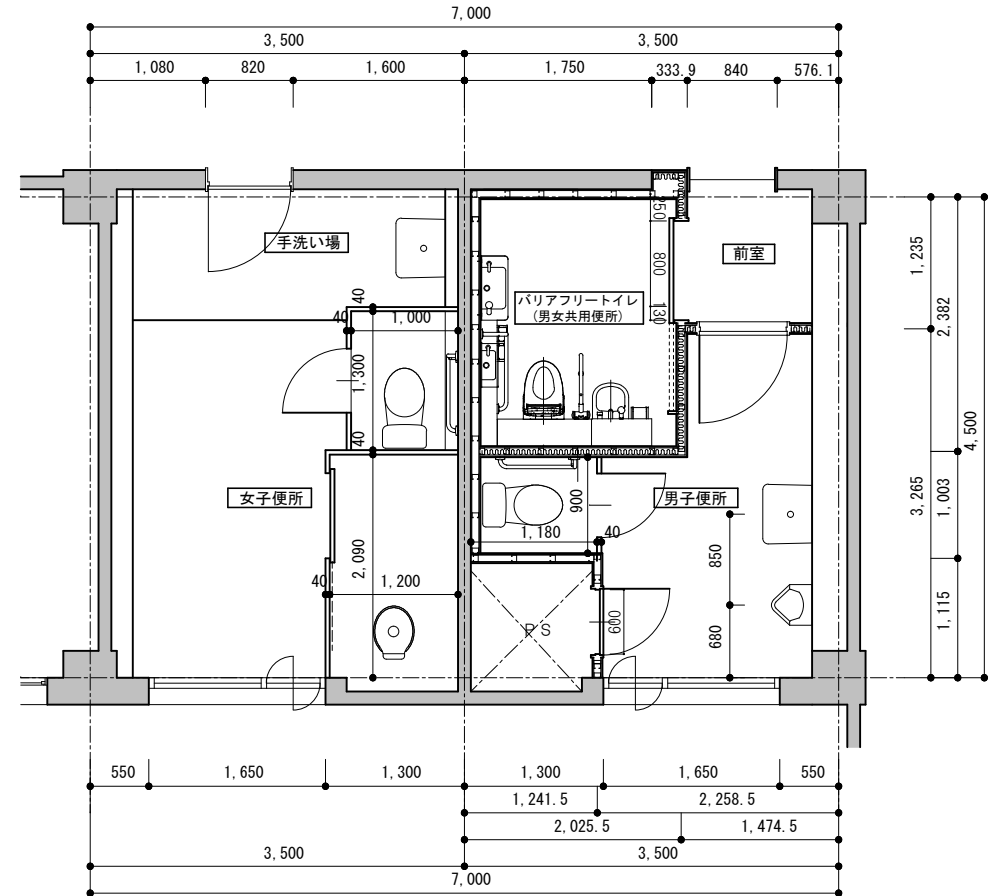
### 関宿複合会館階段手摺設置工事



### 1階平面詳細図【改修前】



### 1階平面詳細図【改修後】



**工事概要**

**【1階男女トイレ洋式化】**

- ・洋式便器改修 (2か所) ・温水洗浄付暖房便座設置 (2か所)
- ・L形手すり設置 ・紙巻器交換 ・照明器具交換 (LED器具)

**【1階バリアフリー対応トイレ改修】**

- ・洋式便器設置 ・温水洗浄付暖房便座設置 ・L形手すり設置
- ・跳ね上げ手摺設置 ・紙巻器交換 ・照明器具交換 (LED器具)
- ・オストメイト設置

## バリアフリー化事業の実績

年度	施設名	整備概要	整備金額(円)	洋式化率
R3	関宿中央公民館	多目的トイレ設置、男女トイレ洋式化改修	6,633,000	33.3% ⇒ 50.0%
	関宿複合センター	手摺設置工事	1,072,500	
	関宿会館	手摺設置工事		
	合計		7,705,500	
R2	野田斎場	段差解消工事	429,000	
	勤労青少年ホーム	手摺設置工事	321,200	
	関宿保健センター	1階多機能トイレ扉等改善、男女トイレ洋式化改修	8,063,000	20.0% ⇒ 40.0%
	合計		8,813,200	
R1	北部公民館	トイレ洋式化(男女各1基)	2,728,000	37.5% ⇒ 62.5%
	北部公民館	外部スロープ手すり設置		
	北コミュニティセンター	1階トイレ洋式化(男女各1基)		40.0% ⇒ 53.3%
	島会館	内外部スロープ手すり設置	595,100	37.5%
	七光台会館	多機能トイレ機能改善工事	817,850	33.3%
	福田公民館	多機能トイレ機能改善工事	891,000	37.5%
	いちいのホール	携帯型集団補聴システム1セット	379,080	39.3%
	合計		5,411,030	
H30	総合公園体育館	トイレ洋式化(女2基)	2,430,000	34.6% ⇒ 42.3%
	南コミュニティセンター	トイレ洋式化(男1基女2基)	2,192,400	35.3% ⇒ 52.9%
	文化会館	ロビー階段に手すり設置	1,068,120	69.2%
	市役所	1・2階トイレ10基(温水洗浄付暖房便座へ改修)	563,544	54.2%
	合計		6,254,064	
H29	勤労青少年ホーム	トイレ洋式化(男女各1基)	1,440,180	12.5% ⇒ 42.9%
	福田公民館	トイレ洋式化(男女各1基)	1,652,400	12.5% ⇒ 37.5%
	関宿公民館	トイレ洋式化(女1基)	2,484,000	25.0% ⇒ 50.0%
		1階多機能トイレ扉・便器等改修		
	中央公民館	玄関手すり設置(2箇所)	407,160	33.3%
	南コミュニティセンター	携帯型集団補聴システム1セット	366,120	52.9%
	合計		6,349,860	
H28	中央公民館	1階多機能トイレ扉・便器等改修	1,263,600	33.3%
	七光台会館	トイレ洋式化(男女各1基)	2,052,000	11.1% ⇒ 33.3%
	島会館	トイレ洋式化(男女各1基)	1,296,000	12.5% ⇒ 37.5%
	中根地域福祉センター	玄関スロープ設置	615,600	83.3%
	老人福祉センター	玄関スロープ設置	216,000	40.0%
	市役所	携帯型集団補聴システム1セット	366,120	54.2%
	合計		5,809,320	

**総合計**

**40,342,974**

## 公共施設バリアフリー化計画 ニーズ調査結果（洋式化率の低い順）

主な整備要望

- |  |   |
|--|---|
| ① トイレの整備<br>② 出入口にスロープ設置<br>③ 階段等に手すり設置<br>④ 多機能トイレの整備<br>⑤ 段差解消 | ⑥ 和室を床に改造<br>⑦ 障がい者駐車場整備・屋根設置<br>⑧ 集団補聴システムの整備<br>⑨ 階段に昇降機設置<br>⑩ その他(少数要望) |
|--|---|

番号	施設名	要望数（件）										計	主な要望内容	洋式化率	改修工事 実施年度		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩						
1	第二中学校			1								1	階段に手すり	27.8%			
2	島会館	13					2					7	22	既設スロープに手すり設置、和室改造 男女便所各1か所洋式化	37.5%	H28,R1	
3	福田公民館	2											2	男女各1か所洋式化	37.5%	H29、R1	
4	いちいのホール								1				1	集団補聴システム設置	39.3%		
5	総合公園体育館	4	2								1	2	9	洋式化、玄関スロープ(設置済)、階段昇降機	42.3%	H30	
6	勤労青少年ホーム	2		1		1							4	段差解消、廊下階段に手すり 男女便所各1か所洋式化	42.9%	H29	
7	木野崎農業構造改善センター	1											1	洋式化	42.9%		
8	川間中学校		1										1	玄関スロープ	44.9%		
9	関宿公民館					1							1	多機能トイレ改修及び出入口扉改修(引戸へ 変更)、女子便所1か所洋式化	50.0%	H29	
10	東部公民館											1	1	パイプ椅子の設置(配置済)	50.0%		
11	関宿中央公民館					2					1		3	多機能トイレ出入口扉改修、階段昇降機	50.0%	H27,R3	
12	南コミュニティセンター	10								2		1	13	洋式化、集団補聴システム、音声判別機	52.9%	H30	
13	中央公民館 (総合福祉会館含む)	6		4	10					3	1		24	洋式化、障がい者駐車場屋根、集団補聴シス テム、多機能トイレ整備、玄関階段手すり	53.3%	H28,29,R2	
14	北コミュニティセンター	2								1		1	4	トイレ・照明・老朽化解消、集団補聴シス テム設置	53.3%	R1	
15	市役所	13			1					3	2		14	33	トイレ洋式化・自動照明化・段差解消、障がい 者駐車場屋根、音声案内、集団補聴シス テム 玄関スロープ	54.2%	H28
16	七光台会館	3	1									2	6	男女各1か所洋式化	55.6%	H28,R2	
17	谷吉会館	1	1	1	1	2	1						7	玄関段差解消、多機能トイレ設置、洋式化	55.6%		
18	北部公民館	2	5							1		1	9	出入口スロープ、洋式化、集団補聴シス テム	62.5%	R1	
19	南部梅郷公民館	1											1	女子トイレ洋式化、ブース内手すり設置	62.5%		
20	樺のホール									4	1		6	駐車場(一般、障がい者用共)増設、集団補 聴システム	65.5%		
21	こだま学園	9			3	1						1	14	トイレ照度アップ、指導用トイレ設置、段差解 消、多機能トイレ修繕	66.7%		
22	文化会館	1	3	7								2	13	ロビー・休憩所に手すり 出入口スロープ設置	73.0%	H30	
23	あさひ育成園	1											1	保護者用トイレ洋式化	75.0%		
24	郷土博物館		1										1	出入口にスロープ	75.0%		
25	あすなろ職業指導所	20		5		2						1	28	トイレ段差解消・照度アップ・床の防滑化、玄 関・廊下に手すり、二階トイレ修繕	80.0%		
26	中根地域福祉センター	9	6	3	2	1	8					3	4	36	洋式化・段差解消・手すり、和室改造、階段昇降機 玄関スロープ設置	83.3%	H28
27	こぶし園	5			5								3	13	多機能トイレ整備(済)、トイレ床材変更・個室 スペース拡大・段差解消	84.6%	
28	北部小学校	2											2	2	トイレ出入口段差解消、老朽化解消	96.8%	
29	中央小学校											1	1	1	西門からの敷石整備(施設管理者依頼済)	95.3%	
30	第一中学校	2	2	1									5	5	体育館洋式化・スロープ(設置済)、玄関スロープ	100.0%	
31	老人福祉センター	11	6		2							9	28	洋式化、段差解消、玄関スロープ、多機能トイ レ設置、玄関手摺設置	100.0%	R2・3	
32	川間駅前青年館	15		1		8	2					3	29	29	トイレ段差解消・手すり、玄関スロープ	100.0%	
33	関宿心身障がい者福祉作業所	4										3	7	7	ウォシュレット、便器修繕、外トイレまで屋根設置	100.0%	
34	市民会館		2										2	2	出入口にスロープ設置	100.0%	
35	東金野井消防会館		3	4									7	7	玄関等に手すり、スロープ設置	100.0%	
	計	139	33	28	27	15	13	10	9	5	57	336					

## 令和4年度福祉のまちづくり運動の事業計画

### 1 事業実施分

月	日	内 容	場 所	備 考
6	2	福祉のまちづくり運動推進協議会	保健センター3階 大会議室	
10		福祉のまちづくり講座 (全3回実施予定)	北部公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉のまちづくりを推進するために、福祉に対する様々な視点から講座を開設する。</li> <li>・詳細が決まり次第「公民館だより」等で募集をする。</li> </ul>
10		福祉のまちづくり講座 (全3回実施予定)	木間ヶ瀬公民館	
12	11	福祉のまちづくりフェスティバル (ふれあいハートまつり及び元気アップふえすたと同時開催)	文化会館ロビー等	活動内容の展示、疑似体験、模擬店等

### 2 福祉のまちづくりパトロールの凍結に伴う歩道等の改修について

令和3年度に引き続き、公共施設周辺の施設管理者での点検及び協議会の方々からの日常生活圏域の中での危険箇所などのご指摘を福祉部が窓口となって受け付けていきます。

## 令和4年度公共施設のバリアフリー化計画について

「公共施設のバリアフリー化」は、「野田市行政改革大綱」に規定する「ファシリティマネジメント基本方針」に基づき、実施していくこととされています。

個別の実施事業の策定は、平成27年度に実施した「公共施設のバリアフリー化に対するニーズ調査」の結果を踏まえた「個別事業策定方針」に基づき、『福祉のまちづくり運動推進協議会』の意見を踏まえ計画的に進めています。

令和4年度の整備事業として、優先性や必要性等を考慮した結果、別紙の「令和4年度公共施設バリアフリー化計画整備事業候補施設」の中から事業を選定いたします。

### 【公共施設のバリアフリー化計画 個別事業策定方針】

1. 要望数の多いトイレ整備のうち、一番要望の多い便器の洋式化を最優先に実施します。なお、洋式化は、市民の利用度が高い施設のうち、洋式化率の低い施設を優先します。  
また、多目的トイレの整備のうち、新設については、設置スペースの確保や施設全体の利用状況を踏まえた実施の可否の検討を行います。  
なお、既設については、機能改善の必要性があるものや要望があるものを優先します。
2. 出入口のスロープや階段への手すり設置等は、要望数の多い施設のみでなく利用度も考慮し計画します。
3. トイレや和室等の段差解消は大規模改修を必要とするため、手すり設置や移動型スロープ等による代替案を含めて計画します。

## 令和4年度公共施設バリアフリー化計画整備事業候補施設

ニーズ調査の結果、一番多いトイレ整備の要望(139件)を最優先にしつつ、機能改善の必要性が高いものを整備(ただし、学校等の特定の利用者による建物を除く。)

## ① トイレ洋式化率の低い施設順

考え方:トイレ整備要望のうち、要望数が一番多い洋式化率の低い施設から順に整備

No	施設名	トイレ洋式化率	整備後洋式化率	整備概要	概算工事費(万円)	現在の状況
1	総合公園体育館	42.3% <del>36.0%</del>	53.8% <del>48.0%</del>	男1女2基洋式化	450	男:洋2,和4 女:洋5,和12 バリアフリー:洋2
2	福田公民館	37.5%	62.5%	男女各1基洋式化	300	男:洋1,和2 女:洋1,和3 バリアフリー:洋1
3	島会館	37.5%	62.5%	男女各1基洋式化	300	男:洋1,和1 女:洋1,和4 バリアフリー:洋1
4	勤労青少年ホーム	42.9%	71.4%	男女各1基洋式化	300	男:洋1,和2 女:洋2,和2 バリアフリー:洋0
5	木野崎農業構造改善センター	42.9%	71.4%	男女各1基洋式化	300	男:洋1,和2 女:洋1,和2 バリアフリー:洋1
6	南コミュニティセンター	52.9%	64.7%	男女各1基洋式化	300	男:洋3,和3 女:洋4,和5 バリアフリー:洋2
7	中央公民館 (総合福祉会館含む)	53.3%	66.7%	男女各1基洋式化	300	男:洋1,和2 女:洋5,和4 バリアフリー:洋2 他:和1

## ② 機能改善の必要性が高い施設順

考え方:その他施設でバリアフリー化が必要な施設

No	施設名	トイレ洋式化率	整備後洋式化率	整備概要	概算工事費(万円)	現在の状況
1	保健センター	60.0%	-	バリアフリートイレのスペース拡大及び トイレ設備の機能改善	650	男:洋4,和3 女:洋9,和6 バリアフリー:洋1
2	いちいのホール	39.3%	46.4%	男女各1基洋式化	300	男:洋3,和7 女:洋5,和10 バリアフリー:洋3
3	東部公民館	50.0%	83.3%	男女各1基洋式化	300	男:洋1,和1 女:洋1,和2 バリアフリー:洋1
4	関宿公民館	50.0%	100.0%	男女各1基洋式化	300	男:洋0,和1 女:洋1,和1 バリアフリー:洋1
5	関宿中央公民館	50.0%	75.0%	男女各1基洋式化	300	男:洋1,和2 女:洋2,和2 バリアフリー:洋1

## ③ その他要望がある施設

考え方:障がい者団体連絡会から要望があった施設

No	施設名	トイレ洋式化率	整備後洋式化率	整備概要	概算工事費(万円)	現在の状況
1	本庁舎	-	-	障がい者等用駐車場及び建物までの 屋根設置	2,200	
2	文化会館	-	-	障がい者等用駐車場及び建物までの 屋根設置	4,200	



## (1) 令和2年度福祉のまちづくり運動の事業報告について

### 【意見1】

＜野田市視覚障がい者協会 上木昭委員＞

福祉のまちづくりパトロールの凍結で、バリアフリー化改修を進めていることは良いと思います。さらに福祉と文化的なものとして、歩道のある道路にベンチを置いて休めるような、いたわりのある設備を設けて欲しい。

公衆便所も、愛宕神社前しか見たことがないので、歩道のある道路にあると良い。市民みんなにとって、やさしいと思われることにも、政策として取り入れて欲しいです。

### 【回答】

＜管理課＞

市内の道路上でベンチが設置されている事例として、梅郷駅東西駅前広場があります。歩道の幅員が十分にあり、利用する歩行者も比較的多いことから、野田市が設置したものです。

しかし、道路法の原則としては、「道路の敷地外に余地がないためにやむを得ないもの」についてのみ道路占用を認めており、一般的な歩道上でのベンチなどは、歩行者の通行空間が十分に確保できないため、設置できません。

ただし、道路に隣接して空地がある場合などは、歩行者数、公共性等を勘案して設置できる余地がありますので、必要に応じて検討してまいります。

＜環境保全課＞

野田市では、「公衆トイレは、史跡めぐり等の観光客やサイクリングロード利用者及び河川敷運動場などの利用者を集客するための重要なアイテムであり、シティプロモーションの一環として進める必要があることから、既存の観光施設の整備や新たな観光資源の発掘に合わせ、公衆トイレの適正な配置計画を作成し、随時整備していくこと」としており、現在、市内に29箇所の公衆トイレを位置付けているところです。

ご要望をいただいた、「トイレが歩道のある道路にあると良い」との意見についてですが、歩道部分へのベンチや公衆トイレの設置は歩行者などの通行に支障をきたすため、難しいと考えています。但し、道路沿いに建設用地の確保ができれば、設置も可能と考えられますが、整備方針に基づき設置することになりますので、「多くの市民に加え、観光客などが利用できる場所が望ましい」ことから、必要に応じて拡大していきたいと考えているところです。

## (1) 令和2年度福祉のまちづくり運動の事業報告について

### 【意見2】

＜野田市中途失聴者・難聴者の集い「みみづくの会」 吉岡靖二委員＞

改修された所でも、千葉県福祉のまちづくり条例施設設備マニュアル（平成28年1月改訂版）に準じていない部分が見受けられる。それ相応の理由があつての事と思われるが、パトロールで指摘された箇所や事柄は可能な限り対処して貰いたい。出来ない場合は指摘した隊員に事前説明して貰いたい。

### 【回答】

＜生活支援課＞

福祉のまちづくりパトロールにおける改修については、早期に安全を確保する観点から応急処理工事を主に実施しているところがございますので、千葉県福祉のまちづくり条例施設設備マニュアルには必ずしも準ずるに至らない箇所もありますが、そのような箇所については、新設や大規模改修の機会に対応してまいります。

また、パトロール現場でも、概略での対応の可否は説明させていただいていると思いますが、対応に時間がかかるものなどについては、改めてご説明をさせていただきます。

### 【実績】

	指摘箇所 総数	市所管分			国・県所管分			警察・事業者・ 所有者対応分			枝剪定等 (依頼済)	現状維持
		指摘箇所	改修済	未改修	指摘箇所	改修済	未改修	指摘箇所	改修済	未改修		
令和2年度	64	46	46	0	3	2	1	5	0	5	7	3
令和元年度	144	114	114	0	1	0	1	4	2	2	24	1
平成30年度	87	66	66	0	0	0	0	6	5	1	11	4

## (2) 令和3年度福祉のまちづくり運動の事業計画について

### 【意見1】

＜野田市肢体不自由児者父母の会 鈴木良造委員＞

推進協議会に参加した当初から総合体育館前から陸上競技場の先までの歩道整備を繰り返しお願いしていたが車椅子対応には中々話が届かない。

### 【回答】

＜管理課・道路建設課＞

本地区の歩道につきましては、桜の幹や根が大きくなり、歩行者等の通行を阻害する要因となっておりますが、桜の根を伐採することは、幹の安定性を保つことが困難になるため、根本的な解決策としては、歩道を拡幅整備する必要があります。

現在、県道結城野田線から野田貝塚付近までは歩道が概ね整備されておりますが、そこから総合体育館に向かつては歩道が狭く車椅子が通行できるような幅員は確保されておられません。清水公園駅からの動線を確保するためにも、歩道の拡幅整備は将来的に必要と考えております。

歩道の整備につきましては、市内各所でご要望をいただいておりますので、本路線もその中に含めて優先順位を考慮し、実施に向けて検討してまいります。

## (2) 令和3年度福祉のまちづくり運動の事業計画について

### 【意見2】

＜野田市視覚障がい者協会 上木昭委員＞

65歳以上の高齢者が3人に1人に近づいています。今後は文化的な政策に目を向けて実施していただきたい。駅前ロータリーには、彫像やベンチを設ける。また、たとえば愛宕駅から市役所に向かう歩道のどこかにベンチがあって休むことができるようにするなど、歩道のある道路にベンチや彫像を置いて歴史を感じる野田市にふさわしい、いたわりを感じる町でありたいです。

### 【回答】

＜愛宕駅周辺地区市街地整備事務所＞

愛宕駅西口駅前広場においては、高齢者、障がい者等の休憩需要に応えることを目的とし、ベンチ等施設の設置を予定しており、駅前広場の完成につきましては、令和5年度を目標に進めております。

また、愛宕駅東口駅前広場については、現在、暫定形ではありますが、タクシー乗降場や障がい者用の乗降場にベンチを設置しております。

今後、完成形の整備につきましても、令和4年度に実施設計を予定していることから、意見を伺い計画に反映していきたいと考えております。

なお、ロータリー内での彫像の設置については、予定しておりません。

＜千葉県東葛飾土木事務所野田出張所＞

主要地方道つくば野田線の愛宕駅前の交差点から野田市役所入口交差点までの区間について、高齢者や障がい者の方、ベビーカーなどの安全の通行を確保するため、道路管理者としては、歩道にベンチ等の通行に支障となる施設等を設置する事は困難と考えております。

### (3) 愛宕駅及び野田市駅の整備状況について

#### 【意見1】

＜野田市視覚障がい者協会 上木昭委員＞

愛宕駅は、まだ流動的ですが、県道からは奥の方になります。どこかの時点でまめバスが入って来るようになるとは思われますが、障がい者からは、できるだけ早くロータリーにまめバスが行き来する停留所を設けていただきたい。

#### 【回答】

＜企画調整課＞

愛宕駅ロータリーへのまめバスの設置につきましては、現状のルートを検討し東口のロータリーに設置することで検討を行っておりますが、東口ロータリーへの乗り入れのためには、ルート及びダイヤの変更が必要になります。

ルート、ダイヤ等の運行計画の見直しについては検討を開始したところであり、また、愛宕駅東口ロータリーについては令和6年度中に完成となることから、新しい運行計画の開始を東口ロータリーの完成に合わせて設置を進めたいと考えております。

なお、愛宕駅西口ロータリーへの乗り入れについては、主要地方道つくば野田線及び主要地方道結城野田線の愛宕神社交差点に右折車線の設置が予定されているものの、現状として県における整備が進んでいないため、まめバスの右折時に道路渋滞を誘発することが予想されることから、右折車線の整備後に皆さまの利便性を考慮しながらルート等の再設定を行い、必要に応じて乗り入れを検討してまいります。

### (3) 愛宕駅及び野田市駅の整備状況について

#### 【意見2】

＜野田市中途失聴者・難聴者の集い「みみづくの会」 吉岡靖二委員＞

以前改修された七光台駅、清水公園の駅舎について、改修後ではあったが野田市障がい者団体連絡会でパトロールをした経験がある。今回の新駅についても出来るだけ事前にパトロールができる機会が有れば良かったと思う。完了してからは補修・改善できないことが往々にしてある。安全安心を考えてホームドアの設置、耳の不自由な人に対する駅舎内放送の文字表示案内の充実を。

#### 【回答】

＜企画調整課、都市整備課＞

駅ホームドアの設置につきましては、国の「交通政策基本計画（2015年2月13日閣議決定）」において、基準として1日当たり平均利用者数が10万人以上の駅について優先的な整備を行うこととされ、東武鉄道株式会社では5万人以上の駅に対しての整備を進めていく方針を示しております。

東武鉄道野田線のアーバンパークラインのホームドア設置状況は、1日当たりの平均利用者数が10万人以上の駅である柏駅、船橋駅は設置済みであり、大宮駅は設置予定となっております。野田市内の駅の乗降客数は、2020年1日平均乗降客数が3,428人～13,136人となっているため、基準に適合しておりません。なお、市内の駅のホームドア設置については、連続立体交差事業を実施中である愛宕駅、野田市駅は、小規模な改修により対応は可能です。他の駅については、ホームドアと階段、柱等構造物との距離の確保や、ホーム自体の補強工事が必要になり、大がかりな工事が必要となることから、設置費用が大きくなります。

そのため、東武鉄道株式会社は市内全駅において、転落防止対策として障がい者などがホームの内側を判別できる内方線付き点状ブロックを設置しております。

野田市では、まず、駅の改修について、市内全駅のバリアフリー化を推進してきており、連続立体交差事業により工事中である野田市駅の多機能トイレを除き、全駅の整備が完了しております。今後は、ホームドアの設置基準について、国の動向も注視しながら、東武鉄道株式会社にホームドアの設置を要望をして参ります。

なお、耳の不自由な人への駅舎内放送の文字表示案内につきましては、野田市駅及び清水公園駅を除く全駅で改札部及びホームにて吊り下げ式の発

車案内標識が設置され、運行情報などについて文字表示での案内を実施しております。野田市駅につきましては、現在は2期工事による建築中のため、未対応ですが、駅舎が完成した際には、愛宕駅と同様な発車案内標識が設置される予定となっております。清水公園駅につきましては、現在東武鉄道がホームの使用方法について検討を行っているところであり、駅の最終形が確定次第設置すると聞いております。

### (3) 愛宕駅及び野田市駅の整備状況について

#### 【意見3】

＜千葉県建築士会野田支部 染谷等委員＞

身体障がい者の車乗降時、屋根のあるところだと使いやすいと思います。

#### 【回答】

＜都市整備課＞

野田市駅西土地区画整理事業により進めている野田市駅前広場の整備につきましては、令和4年度末の完成を目指しておりますが、野田市駅前広場の屋根シェルターにつきましては、野田市駅の自由通路から雨に濡れずに移動できるように、バス、タクシーの乗降場のほか、ご意見を頂きました障がい者用の乗降場も含めまして設置する方向で検討しております。

＜愛宕駅周辺地区市街地整備事務所＞

愛宕駅西口駅前広場においては、タクシーや障がい者用の乗降場に、屋根シェルターの設置を予定しており、駅前広場の完成につきましては、令和5年度を目標に進めております。

なお、愛宕駅東口駅前広場につきましては、現在、暫定形ではありますが、タクシーや障がい者用の乗降場に屋根シェルターを設置しております。

今後、完成形の整備につきましても、令和4年度に実施設計を予定していることから、意見を伺い計画に反映していきたいと考えております。



### (3) 愛宕駅及び野田市駅の整備状況について

#### 【意見4】

＜東武鉄道(株)野田市駅 佐藤修一委員＞

愛宕駅鳩害対策にご検討をいただけると幸いです。(衛生管理の観点から)

#### 【回答】

＜都市整備課＞

愛宕駅舎につきましては、駅のホーム上屋や高架下などにおいて、鳩が集まり、営巣・繁殖活動を行っており、フンによる駅部や利用客への汚損などが発生しており、深刻な状況が見受けられました。

連続立体交差事業としましては、愛宕駅の仮駅舎や高架化された新駅舎の整備後の状況を確認し、ホーム上屋の梁や高架桁下等へのバードネットやバードスパイクの設置を実施して、鳩害対策に取り組んでおります。

#### (4) 公共施設のバリアフリー化事業の整備箇所について

##### 【意見1】

＜野田市中途失聴者・難聴者の集い「みみづくの会」 吉岡靖二委員＞

予定されている関宿会館並びに関宿複合センターに階段手摺りの設置は、千葉県福祉のまちづくり施設整備マニュアルに準じて階段の両側に設置されるようにお願いします。前年度に設置された箇所ではスペースがあるにも拘わらず片方だけになっているところがある。(勤労青少年ホーム)

パトロールをする場所について、これまでは学校や公共施設周辺を重点に実施されて来たが、最近になって公共施設のトイレの補修に重点がおかれている。多くの高齢者や内部障害者にとっても外出する機会が増えることが期待される。また災害時における避難場所としても大変有効に活用できる。国の新オレンジプランにあるように認知症が大きな課題になっており、特に難聴が認知症のリスクを高める大きな要因になっており予防対策が急がれている。今後とも公共施設の整備計画の中に、意思疎通支援のための文字盤・筆談具、並びに補聴援助機器の設置の配慮をお願いします。

##### 【回答】

＜営繕課＞

関宿会館については、既存回り階段内側の踏面が狭い状態となっており、利用者の内側への誘導は踏み外し等を考慮すると避けることが望ましいため、外側のみ手すりを設置する予定です。

また、関宿複合センターについては、両側に手すりを設置予定です。

＜生活支援課＞

「公共施設のトイレ改修」については、公共施設バリアフリー化に対するニーズ調査の結果や利用状況等を踏まえ、順次整備を行っており、災害時に利用する観点からも有効であると考えています。

また、「携帯型集団補聴システム」は、3施設に設置をしているところですが、引き続き「文字盤、筆談具」とあわせて、公共施設の状況や優先度等も考慮して、協議会にご意見を諮った上で設置してまいります。

##### 【実績】

年度	設置機器	施設名
H28	携帯型集団補聴システム1セット	市役所
H29	携帯型集団補聴システム1セット	南コミュニティセンター
R1	携帯型集団補聴システム1セット	いちいのホール

#### (4) 公共施設のバリアフリー化事業の整備箇所について

##### 【意見2】

＜野田市小学校長会 石山由美子委員＞

小中学校の体育館のトイレが和式のみ学校があります。避難所になる可能性を考えると洋式化が必要です。少しずつでも計画をお願いいたします。

##### 【回答】

＜教育総務課＞

学校トイレの洋式化につきましては、現在進めている校舎内のトイレ洋式化を優先して計画的に実施しております。

ご意見の体育館トイレの洋式化につきましては、校舎トイレの洋式化を優先しているため整備に時間を要することから、平成4年度中に簡易設置型洋式トイレを常設することで準備を進めてまいります。

なお、簡易設置型洋式トイレを設置するまでの間の災害への対応といたしましては、備蓄しております洋式の組立式簡易トイレを設置し、避難者の要望に応えることとしております。

さらに、体育館内にトイレが無く、トイレを利用するための移動が困難な場合は、協定先から仮設トイレ等の供給を受け対応してまいります。

[愛宕駅西口駅前広場のバリアフリー化について]



1

都市部 愛宕駅周辺地区市街地整備事務所

## 愛宕駅西口駅前広場の概要

### 事業の目的

愛宕駅西口は、通勤・通学はもとより中心市街地へのアクセス拠点であるとともに、西駅前線の整備により、自家用車の送迎による駅利用者が増えている。

また、愛宕駅周辺地区では連続立体交差事業と合わせて、関連する駅前広場や都市計画道路駅前線等を一体的に整備することにより、総合的なまちづくりを行うこととしており、愛宕駅周辺地区基本構想の中で、西駅前線の歩道及び西口駅前広場を道路特定事業として誰もが安全で快適に生活できる施設整備を進めることを目指している。

このことから、歩行者の利便性の向上及び安全性の確保、交通結節点としての機能強化のために、駅前広場の整備を図るものです。

### 事業概要

事業年度：平成26年度～令和5年度

事業面積：A=3,100㎡

### 事業の経緯

平成17年8月23日 都市計画決定

平成27年3月24日 事業認可の告示

平成27年度 事業着手（測量・調査・設計）

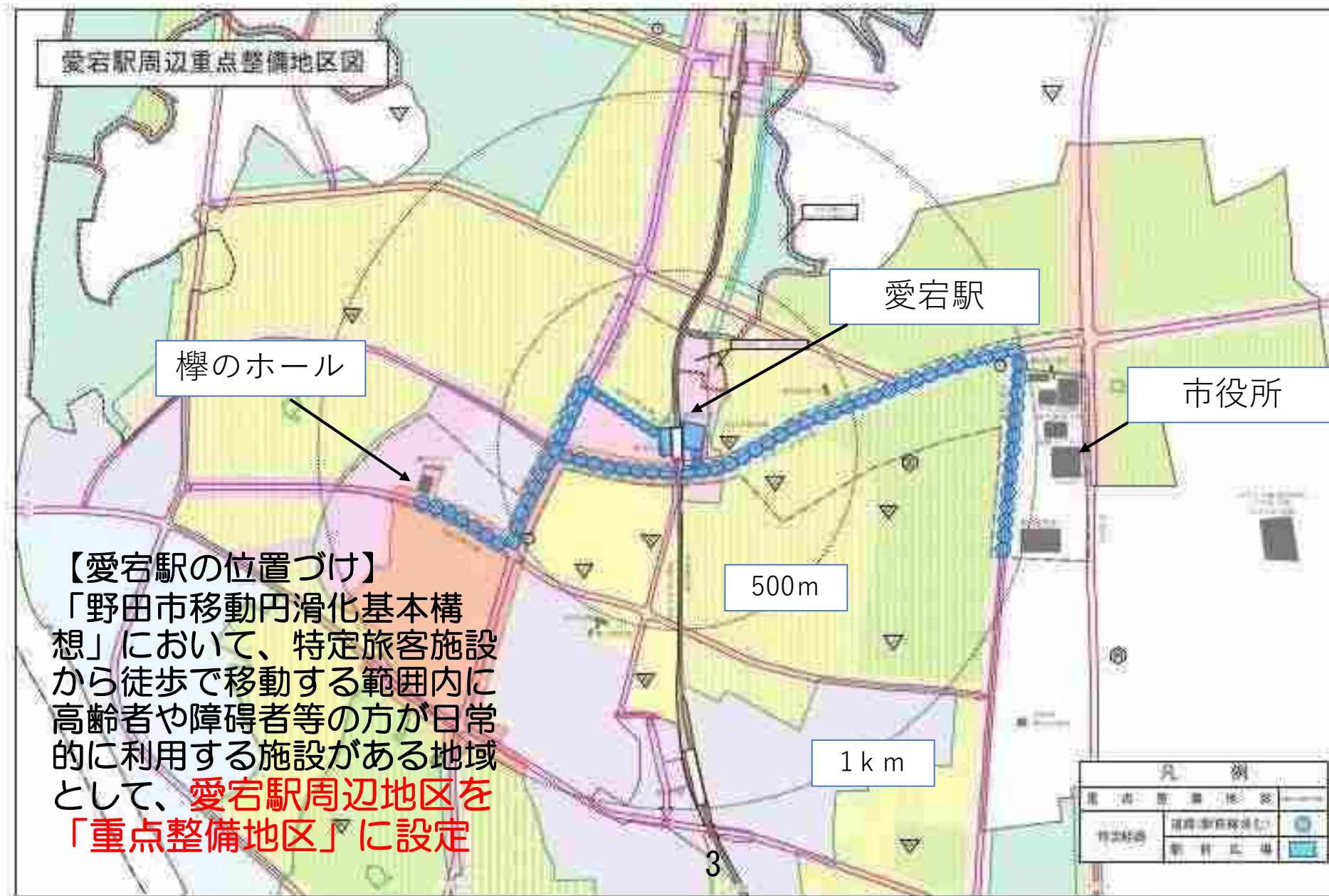
平成28年度～令和3年度 用地取得（令和3年度にて全ての用地取得が完了）

令和3年度 駅前広場造成工事着手（地盤対策工事）

令和4年度～令和5年度 駅前広場造成工事



# 愛宕駅周辺重点整備地区



愛宕駅西口駅前広場  
計画図



柏方面

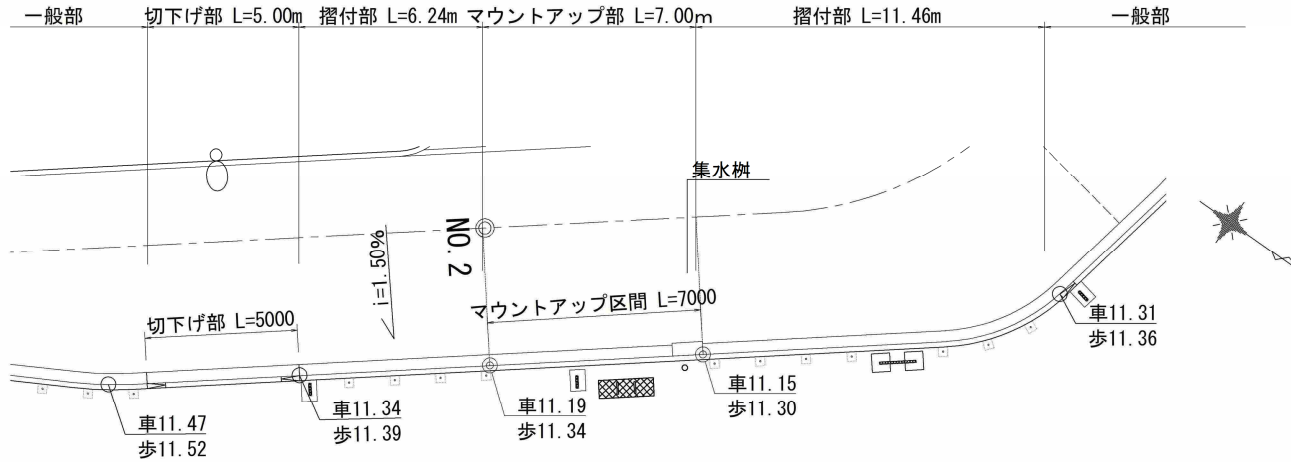
大宮方面

至東口

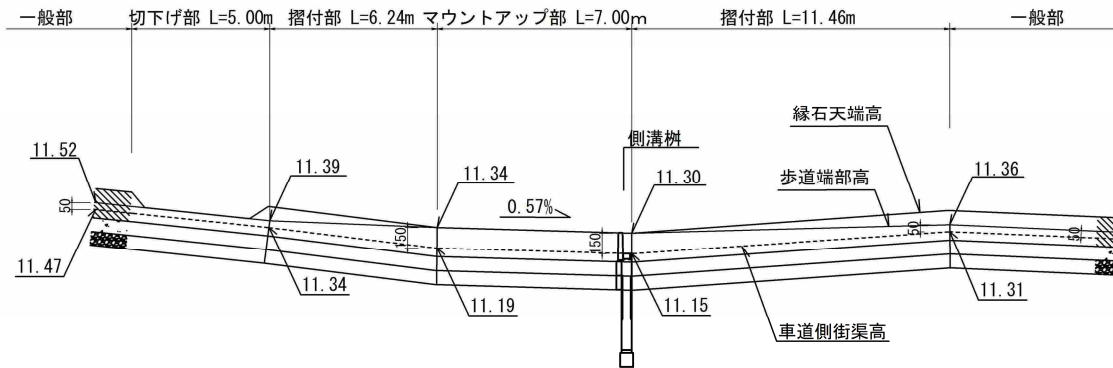
4



## 縦断計画



バス停部摺付区間(平面図)



バス停部摺付区間(横断図)

歩道部はセミフラット形式を基本とするが、バス停部はマウントアップで設計を行う。

歩行の快適性を優先し、マウントアップからセミフラットへの摺付区間を設ける。

### ◆勾配◆

歩道の縦断勾配は、**5%以下**とするものとする。ただし、地形の状況その他の特別の理由によりやむ得ない場合においては、**8%以下**とすることができる。

歩道の横断勾配は、**1%以下**とするものとする。ただし、地形の状況その他の特別の理由によりやむ得ない場合においては、**2%以下**とすることができる。



## 平面計画

- 自由通路接続部等の駅前広場からの交通流を考慮した計画とした。
- 愛宕西駅前線と市道31182号線のみ駅前広場に接続し、自由通路に大屋根シェルターを設ける。
- 各乗降所間を連続シェルターでつなぎ、大屋根シェルターと接続シェルターでつなぐ計画とする。
- バス乗降場、身障者乗降場、タクシー乗降場を設置する。



＜身障者乗降場から自由通路（大屋根）に向かうイメージ＞

## シェルター計画

### 愛宕駅西口駅前広場景観コンセプト

#### 地域の特性を生かした魅力ある駅前広場 ～新しく未来に向かってはばたく～

愛宕駅は市役所の玄関口であることから、まず野田市の顔となる駅前であることを感じさせることが大事である。そして駅利用者や地域の人々の交流空間となり、駅とまちを“つなぐ”結節点となる駅空間。こうした空間を演出するための仕掛けとして、駅舎のモチーフにも採用されている「高瀬舟」や未来に向かって羽ばたける駅前景観づくりを目指すこととする。



愛宕駅のファサードには、江戸川の流れに高瀬舟が帆を張って未来へと進んでいく様子が表現されており、地上階の外壁には木彫の仕上げ材を、ホーム階の外装（中央部）には帆をイメージした膜材が採用されている。



梅郷駅東口駅前広場  
(アルミハニカムパネル)



梅郷駅西口駅前広場  
膜(フッ素樹脂+硝子繊維膜材)



梅郷駅東口駅前広場  
硝子(セラミックプリント印刷)

### 屋根材の選定について

景観コンセプトと駅舎のデザインとの整合性を図り、**高瀬舟の帆を表現**するのに適した**膜材**を採用する。

## 大屋根計画

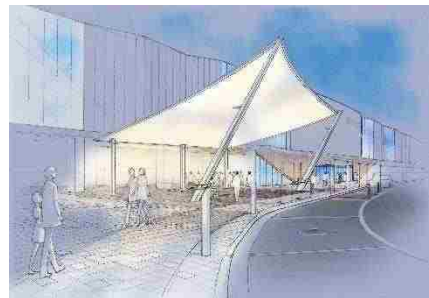


高瀬舟(帆のイメージ)



江戸川(雄大な流れ)

大屋根 ～江戸川舟運の要所として栄えた歴史を重ね合わせる～  
高瀬舟の帆をイメージした躍動感あるデザインが商業・業務機能の集積地として、にぎわいと新しいコミュニティを創出するシンボリックな存在になります。



＜膜面を活用したプロジェクションマッピング

による演出のイメージ＞

春はさくら、初夏～夏は木漏れ日などの四季折々の情景を映し出すことで、自然と共生する野田市をPRすると共に、日常的に利用する人も楽しむことができるコンテンツを盛り込みます。



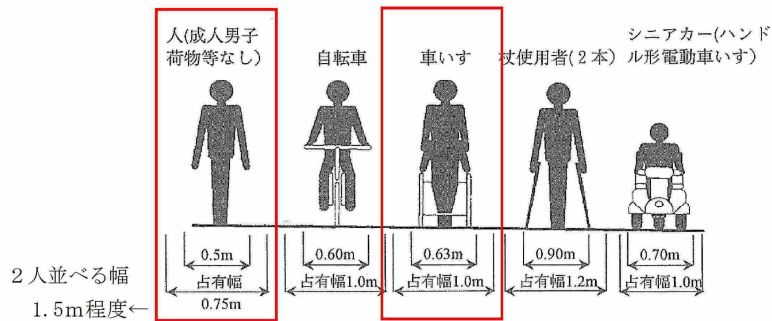
## シェルター平面計画

大屋根シェルターは、自由通路に合わせてシェルターの幅を15mとする。

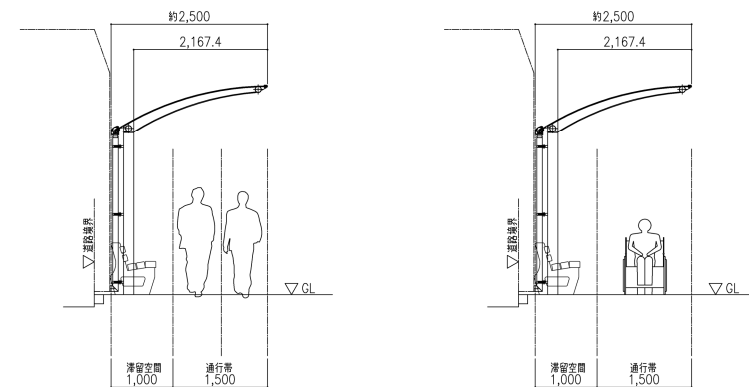
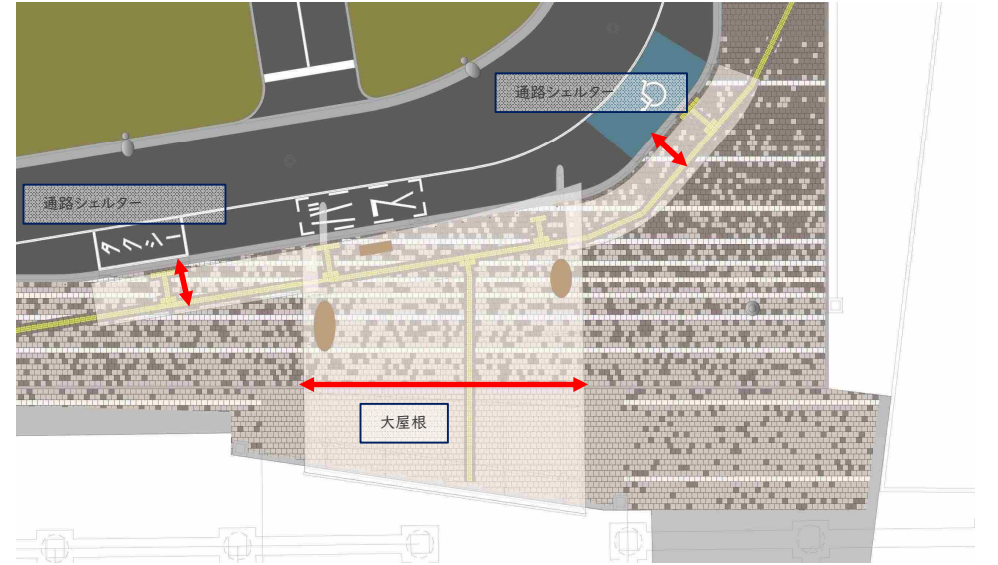
連続シェルターは、滞留空間と通行帯の幅を考慮してシェルター幅を決定する。各乗降場前のシェルターは、バス待合の機能としての滞留空間と通行帯としての役割を担っている。滞留空間としては、「道路構造令」ではベンチを設ける場合は1メートルの幅を確保することと定めている。また、歩行者が滞留する場合の占有幅を以下のように設定する。

滞留空間は車いすの方が滞留した場合の占有幅1.0mを確保し、通路空間は人がすれ違っても問題ない寸法かつ、車いすの方が余裕を持って通行できる幅を確保する。よって通路空間は人と車いすの方がすれ違える幅である2.5mとする。

(歩行者 1人の滞留空間)

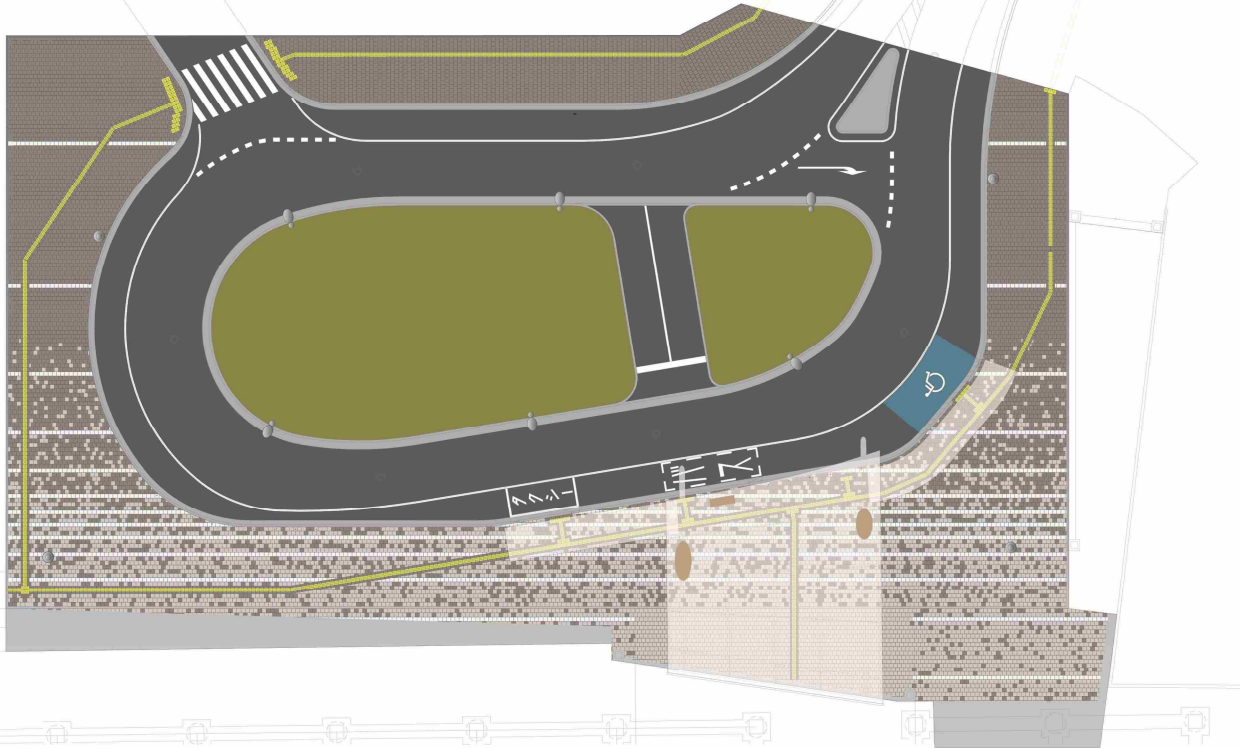


滞留空間幅の考え方



連続シェルター幅の考え方

## 歩道部舗装計画



視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説」に準拠し、愛宕西駅前線から視覚障害者誘導用ブロックを接続し、駅にアクセスできるような配置とする。総合案内サインまでは、視覚障害者にもサインがわかるようにするために誘導を行う。

### 輝度比の確保

輝度比確保の為、視覚障害者用ブロックは周囲にAQブラックを配置。

$$\text{輝度比} = \frac{\text{視覚障害者誘導用ブロックの輝度 (cd/m}^2\text{)}}{\text{周辺舗装の輝度 (cd/m}^2\text{)}}$$

※輝度比は1より小さい値となる場合は、逆数で表します。

カラー	輝度
イエロー	232.6
AQブラック (ブラック)	45.4

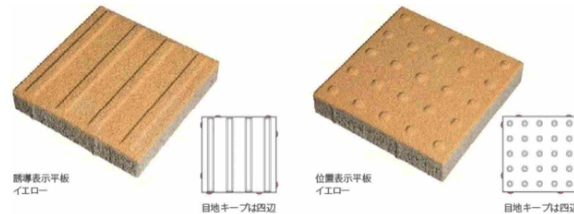
AQ ブラック 輝度比: 23.26/45.4=5.12

※推奨値2.0程度→**5.12 OK**

### 一般歩道部舗装材 (コンクリート製平板)



### 一般歩道部舗装材 (コンクリート製平板)



### 舗装材に持たせる機能



# 照明計画

西口駅前広場の照明配置計画図



●参考●関連するその他の基準  
JIS Z 9111 道路照明基準

表 歩行者に対する道路照明基準

夜間の歩行者交通量	地域	照度 (lx)	
		水平面照度	鉛直面照度
交通量の多い道路	住宅地域	5	1
	商業地域	20	4
交通量の少ない道路	住宅地域	3	0.5
	商業地域	10	2

・水平面照度は路面上の平均照度  
・鉛直面照度は、歩道の中心線上で路面上から1.5mの高さの道路軸に対して直角な鉛直面上の最小照度

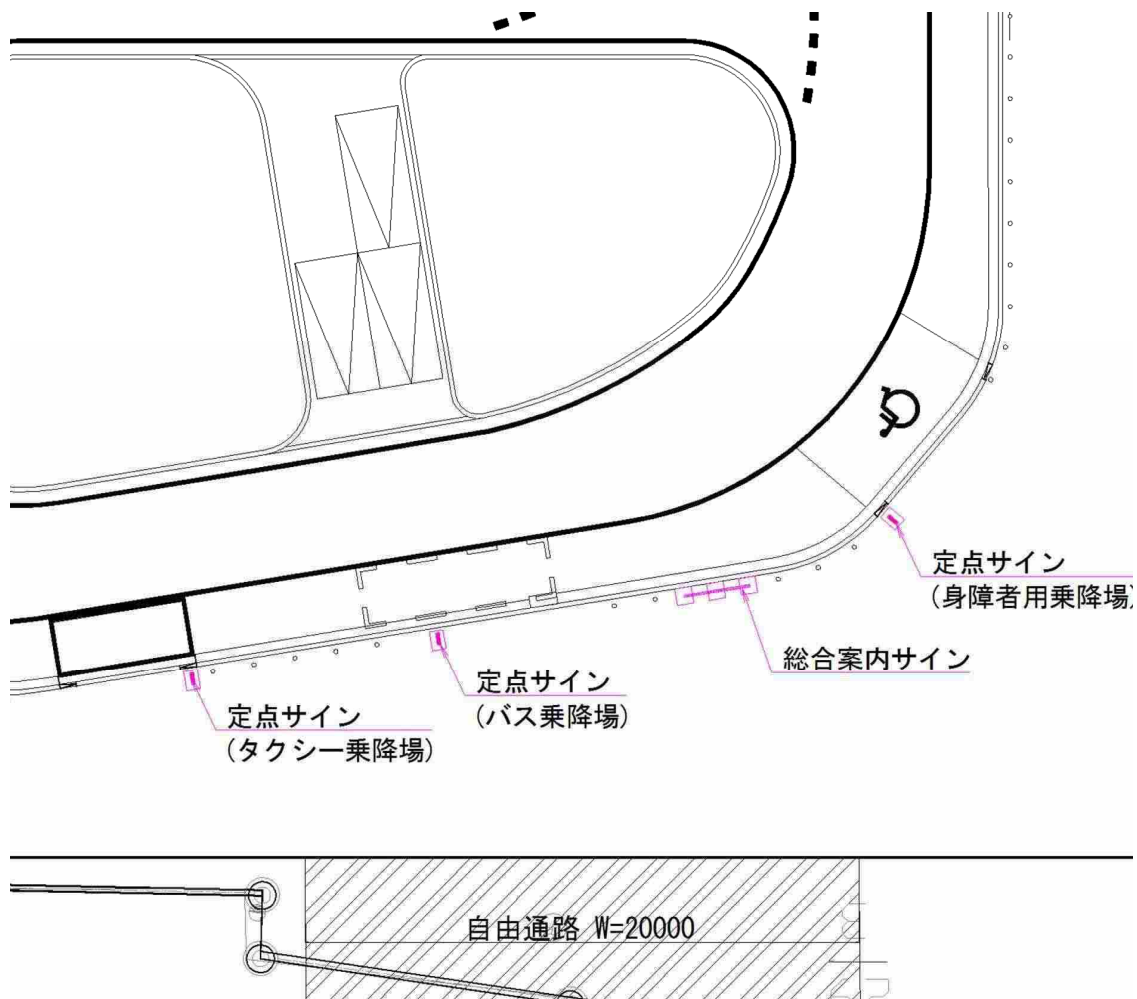


## ◆照明灯◆

- ・ 高齢者や身体障害者等の身体特性を考慮すると、安心・安全に移動できる明るさとして水平照度 **10ルクス以上**を確保できるように配置する。
- ・ 歩道の明るさにムラがあると、障害物が視認しにくくなる事から均斉度（当該歩道路面上の水平面照度の最小値を平均値で除した値）**0.2**を確保し、安全で安心して通行できる配置とする。



## サイン計画



### ①総合案内サイン

愛宕駅西口から周辺施設等へのアクセスの向上のため、見やすくわかりやすいデザインを配置する。総合案内サインは、利用者の利便性の向上とバリアフリーを意識し、音声ガイドのついた製品を採用する。また、音声ガイドは外国語（英語、中国語、韓国語）に対応可能である。

### ②定点サイン

定点サインは、各乗降場をわかりやすく示すため、身障者乗降場、バス乗降場、タクシー乗降場に設置する。また、定点サインのデザインは、総合案内サインと整合を図れるデザインを採用する。



総合案内板イメージ



定点サインイメージ

# [野田市駅前広場のバリアフリー化について]



都市部 都市整備課 区画整理係



# 野田市駅前広場の概要

## 事業の目的

本地区は、野田市の中心地として発展してきた中央地区に位置しており、東武野田線野田市駅西側に隣接し、周辺には市の伝統的な産業である醤油醸造業が形成されている。

現在、野田市駅には駅前広場がなく、駅前には朝夕及び雨天時の送迎車等で混雑し、危険な状況となっている。

このため、当該事業において、東武野田線（野田市）連続立体交差事業と連携を図り、駅前広場及び駅前線等の都市計画道路や区画道路の整備を行い、駅周辺のバリアフリー化を図るものです。

## 事業概要

事業年度：平成18年度～令和9年度

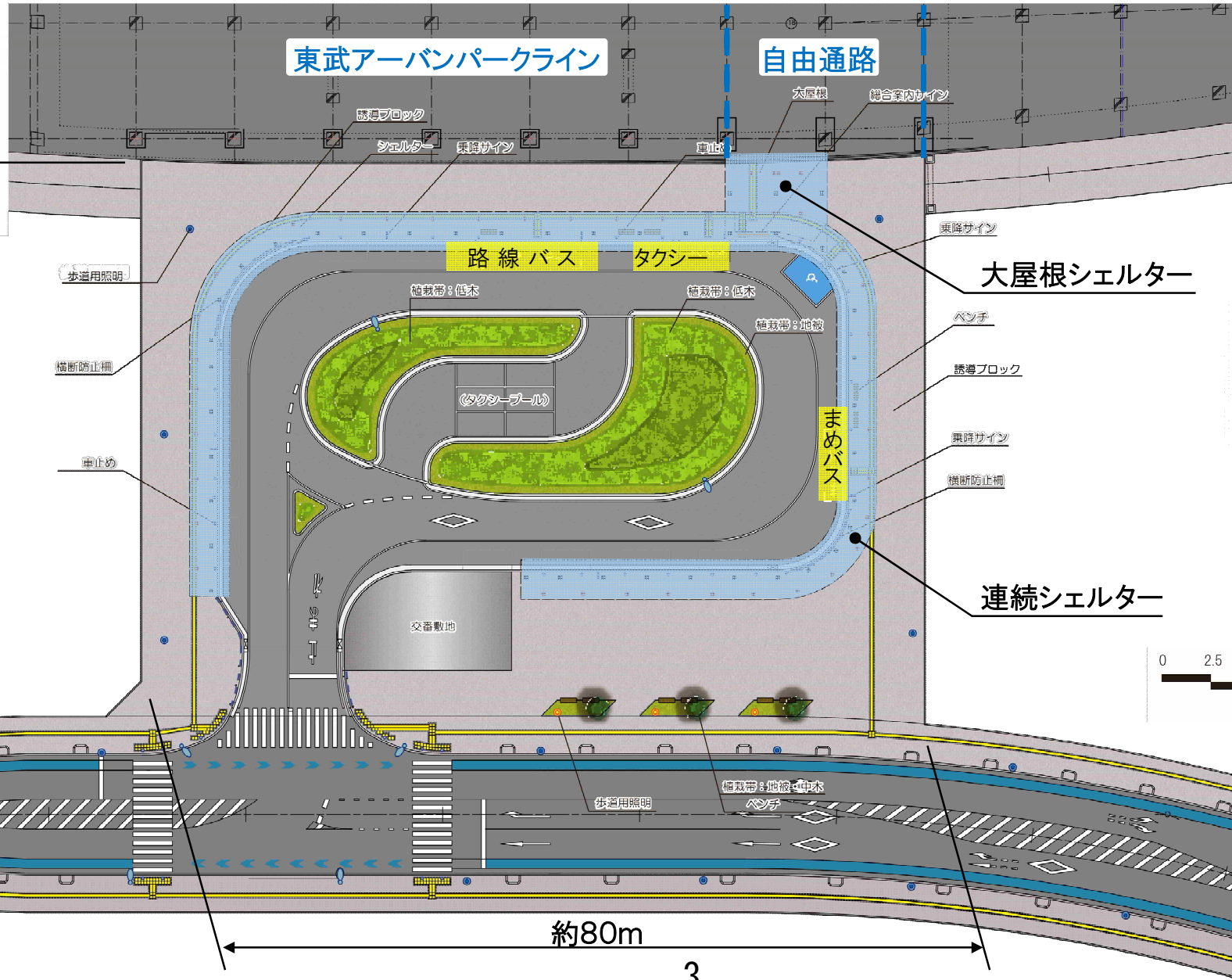
事業面積：6ha（うち駅前広場 A=4,500m<sup>2</sup>）

## 事業の経緯

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 平成17年度 | ・都市計画決定（H17.8.23）             |
| 平成18年度 | ・事業認可の告示（H18.11.22）           |
| 平成24年度 | ・第一回事業計画変更（H33年度まで延伸）         |
| 平成26年度 | ・第二回事業計画変更（減歩率の変更等）           |
| 平成28年度 | ・地区内全域（6ha）を仮換地制定             |
| 令和2年度  | ・第三回事業計画変更（R9年度まで延伸）          |
| 令和3年度  | ・野田市駅前広場築造工事着手（令和4年度末の竣工を目指す） |

# 野田市駅前広場計画図

面積  
約4,500㎡



- 凡例
- 舗装
    - 車道舗装 (半たわみ性舗装)
    - 歩道舗装 (透水性平板)
  - 誘導ブロック
  - シェルター
  - シェルター支柱
  - 交番敷地
  - 車止め
  - 横断防止柵
  - ベンチ
  - 植栽
    - 中木: ハナミズキ
    - 低木: オオムラサキツツジ, サツキツツジ
    - 地被: タマリユウ
  - サイン
    - 総合案内サイン (触知付属)
    - 乗降サイン (定点タイプ)
  - 照明
    - 歩道用照明
    - イベント広場照明
    - シェルター照明
    - 車道用照明



約56m

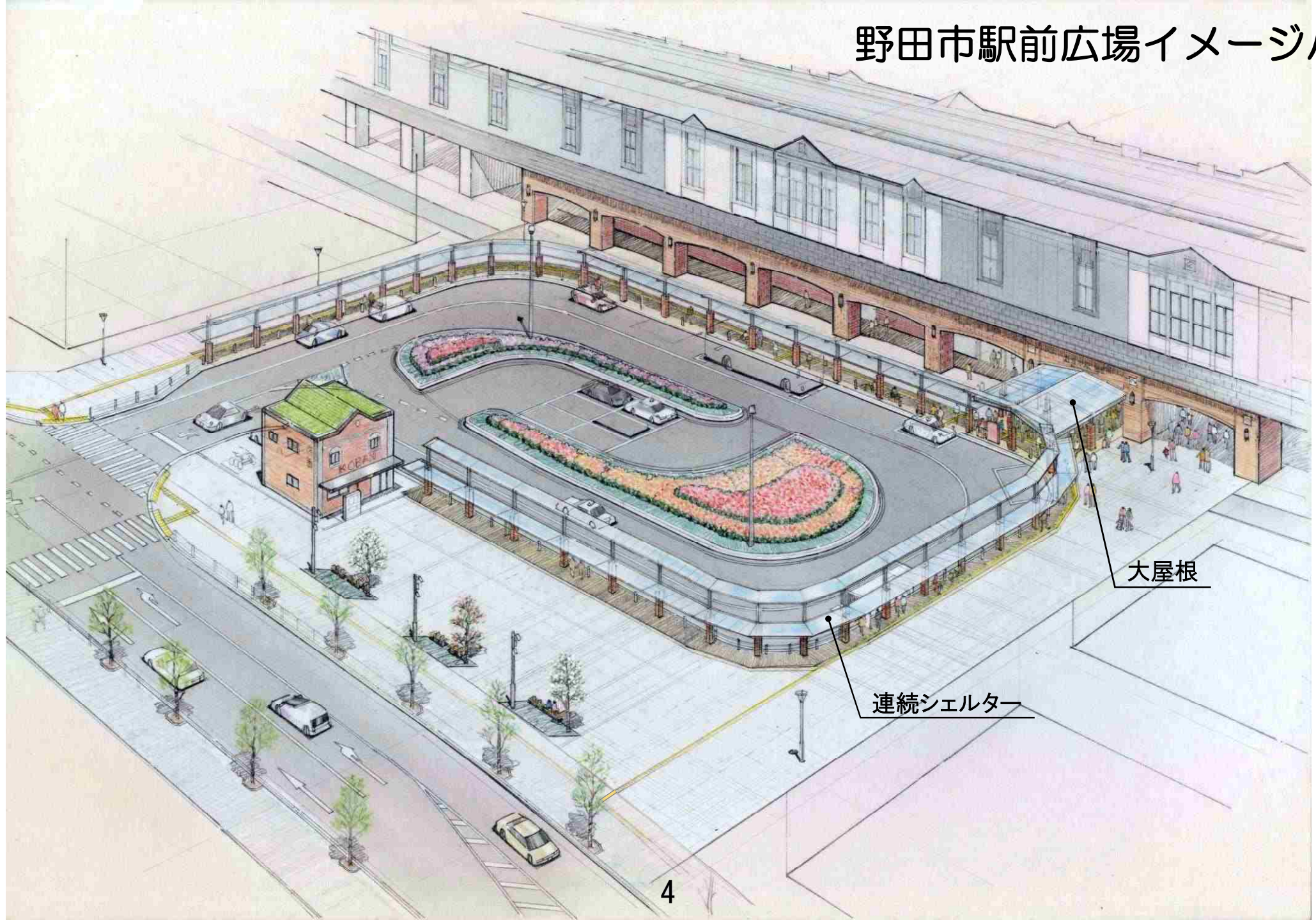
約80m

大宮方面

柏方面



# 野田市駅前広場イメージパース



大屋根

連続シェルター



# 平面計画

- 駅前広場ロータリーの全周に連続シェルターを設ける計画とする。
- 各乗降場間を連続シェルターと大屋根シェルターでつなぐ計画とする。
- バス乗降場、タクシー乗降場、障がい者用乗降場、一般車両の乗降スペースを設置する。

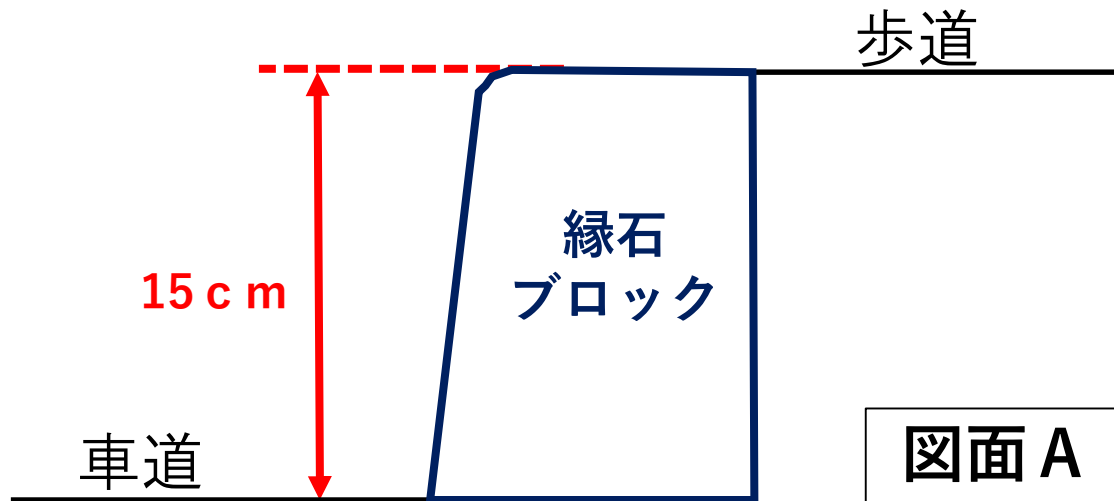


# 歩車道境界の基本構造①

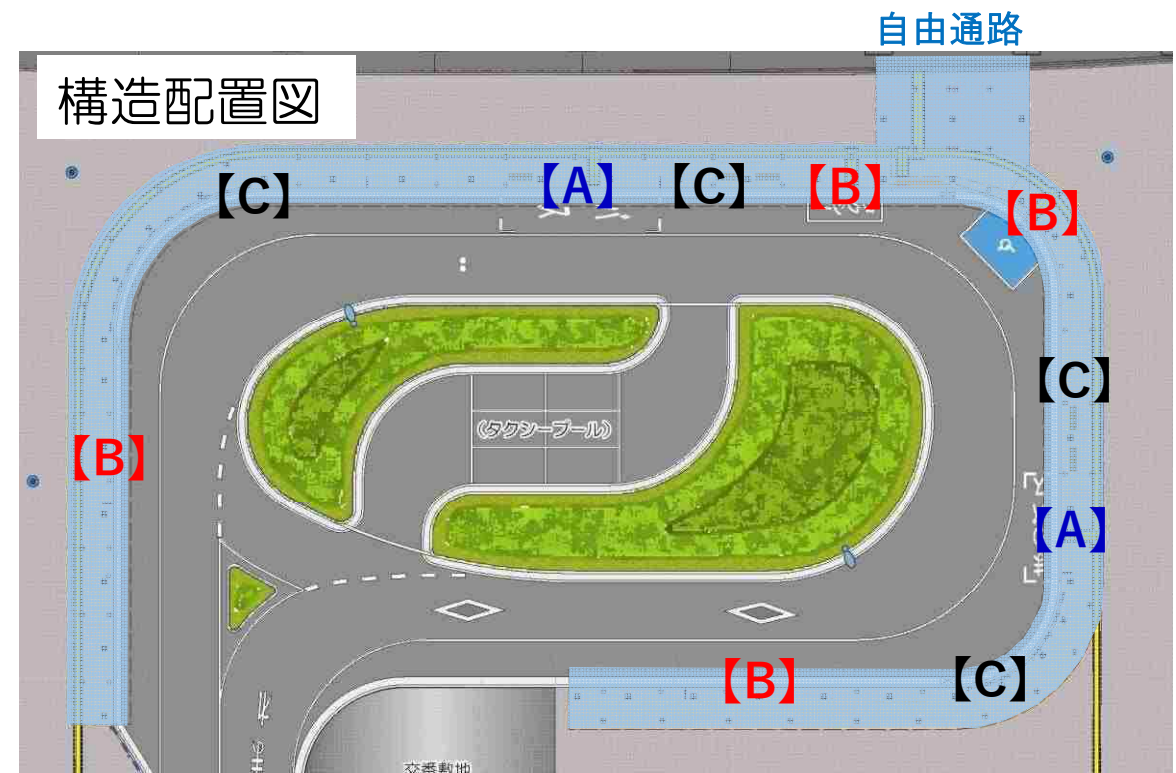
構造は『道路移動等円滑化基準』に準拠する。

## 【A】 バス停部分

- 歩車道部の段差はマウントアップ形式とし、車道より15cm高い歩道とする。



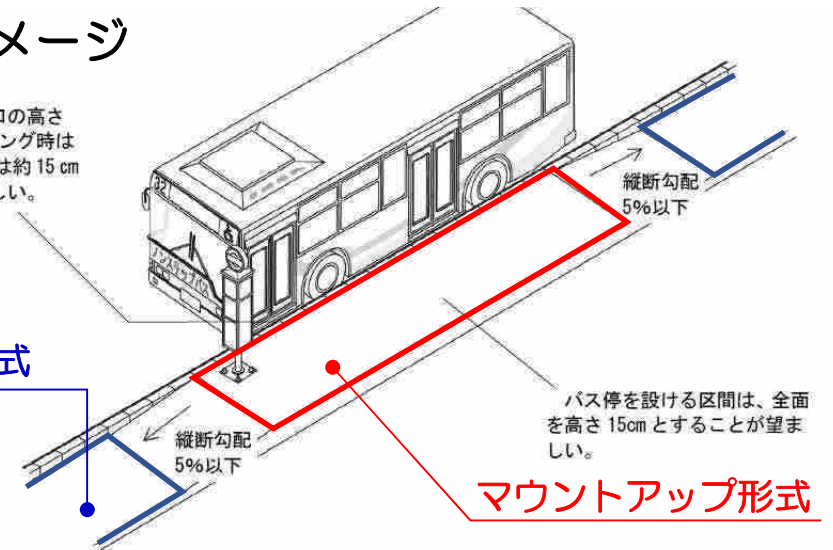
構造配置図



## バス停イメージ

ノンステップバスの乗降口の高さは、通常時約 30 cm、ニーリング時は 20 数 cm となるため、バス停は約 15 cm のマウントアップ型が望ましい。

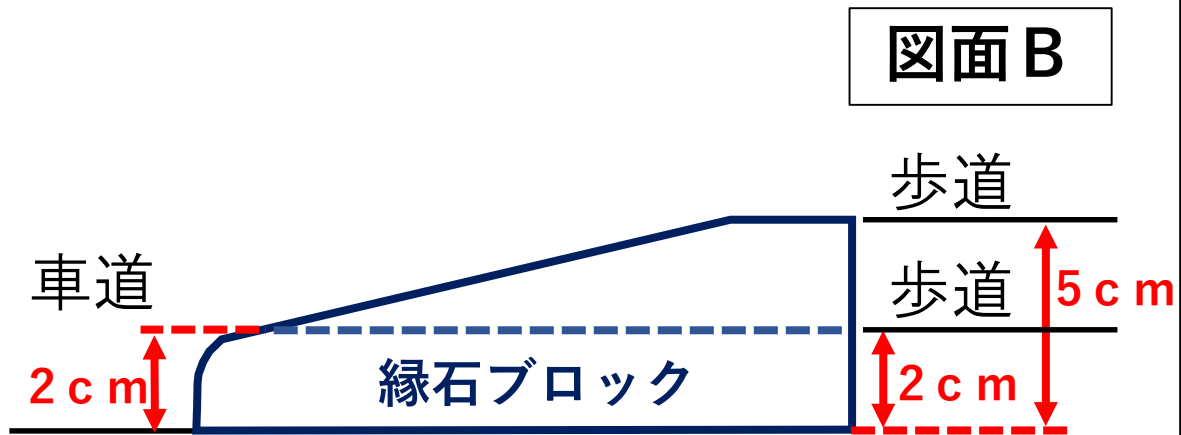
## セミフラット形式



## 歩車道境界の基本構造②

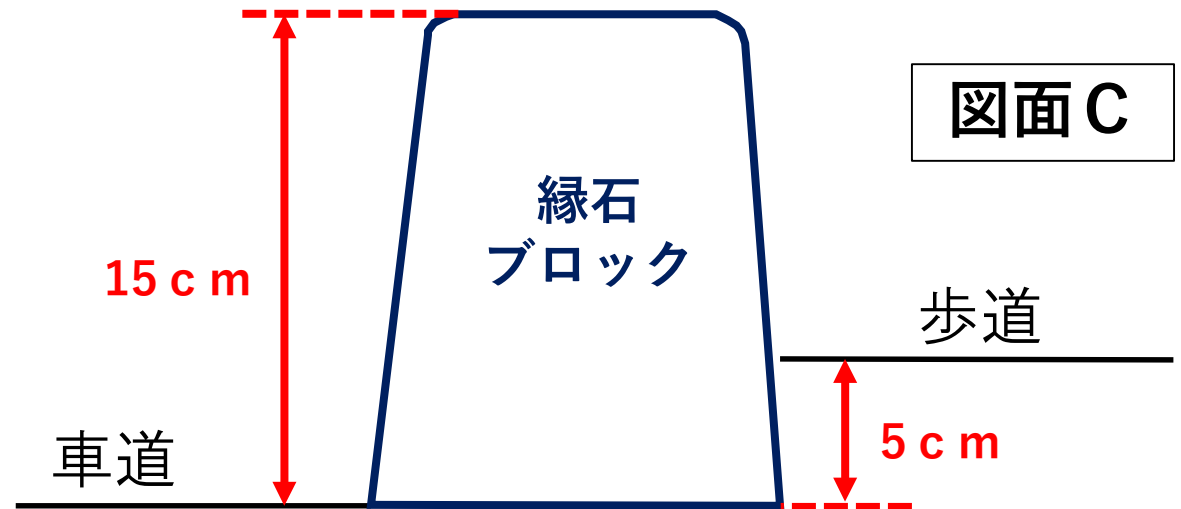
### 【B】 タクシーや障がい者用の乗降スペース部分

- 歩車道部の段差は**セミフラット形式**とし、車道より5cm高い歩道とする。
- ただし、障がい者用乗降スペースは、車道より2cm高い歩道とする。



### 【C】 その他一般部

- 歩車道部の段差は**セミフラット形式**とし、車道より5cm高い歩道とする。
- 境界部分には、高さ15cmの縁石ブロックを設置する。

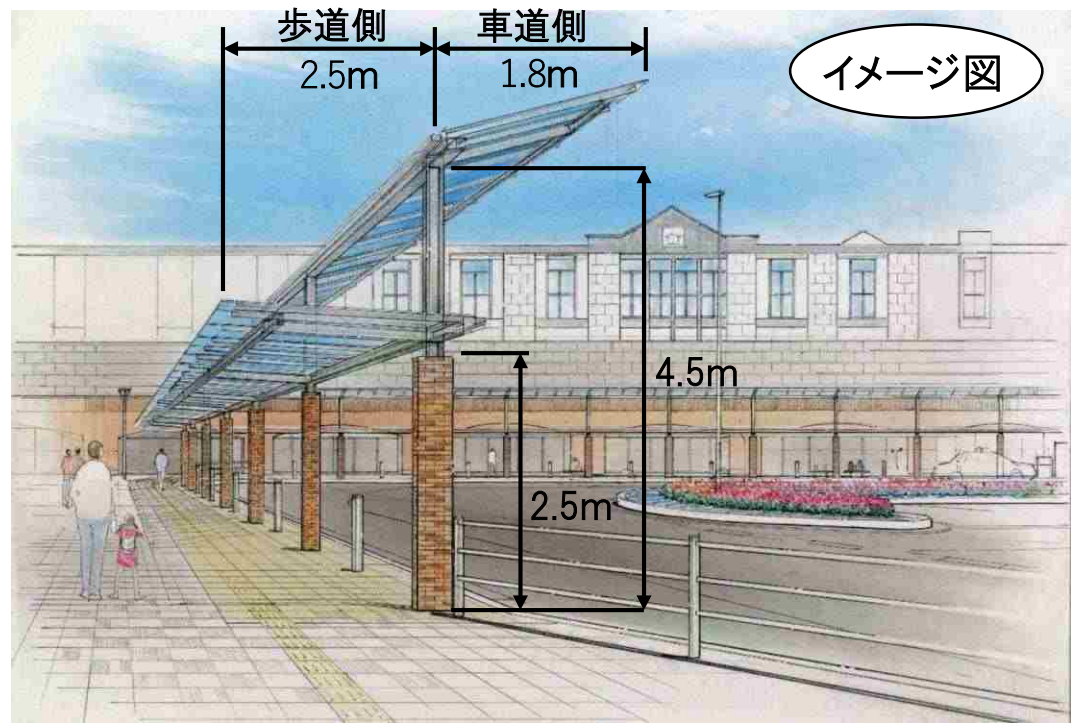




# シェルター計画

## 野田市駅前広場 シェルターコンセプト

- 近代産業遺産群との時代性と調和した形態・素材・色彩・質感としていく。
- 当時使用されていた素材をリンクさせ、歴史に触れる空間づくりとする。
- おもてなしを感じるデザインにも寄与する。



野田市駅周辺の近代産業遺産群



施設イメージ(川間駅前広場)



# シェルター平面計画

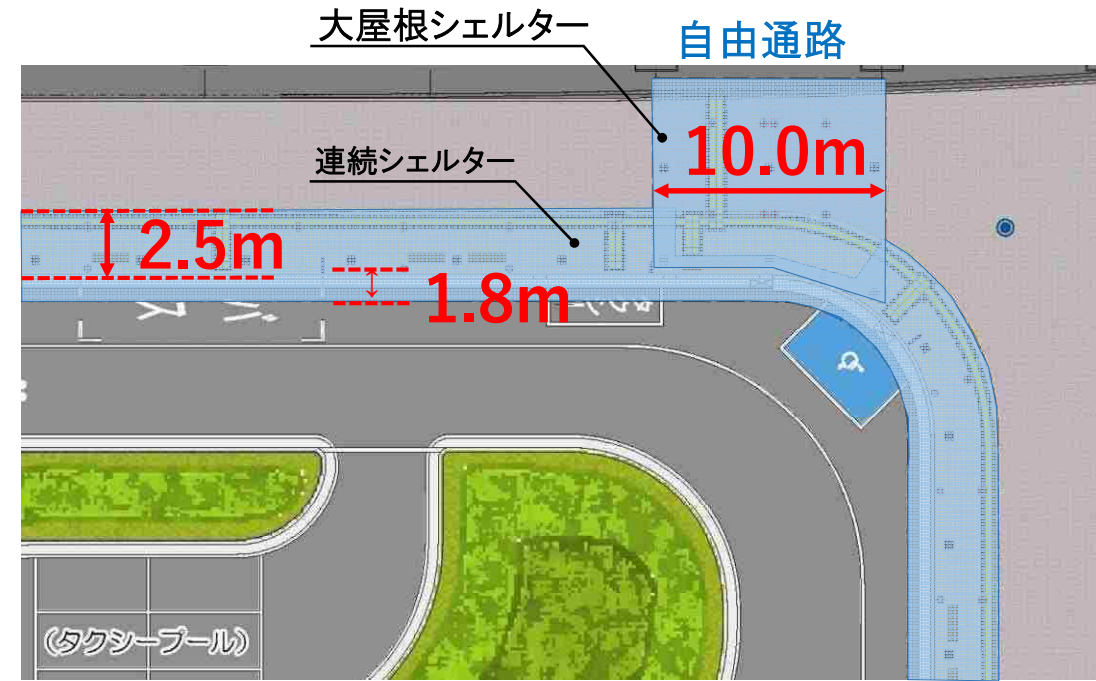
- 大屋根シェルターは、自由通路に合わせ、幅を10.0mとする。

- 連続シェルターの滞留空間は、ベンチ設置に必要な空間を確保しつつ、車いすの方が余裕を持って通行できるように、幅を2.5mとする。

※「道路構造令」ではベンチを設ける場合は1mの幅を確保することと定めている。

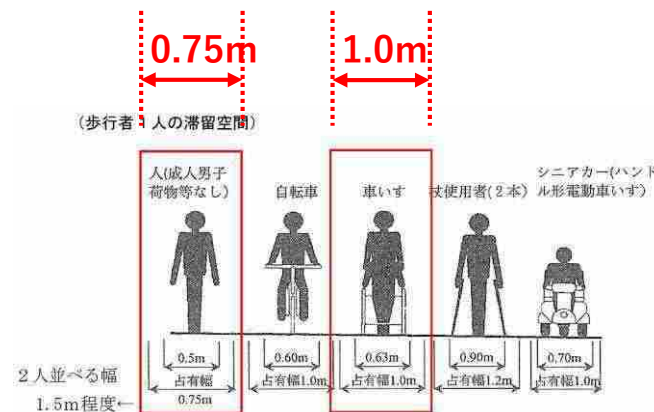
- 車道側のシェルターは乗降時の降水を避けるため、幅を1.8mとする。

※シェルターは「道路構造令」に基づき、車道側は、高さ4.5m以上、歩道側は、高さ2.5m以上を確保する必要がある。

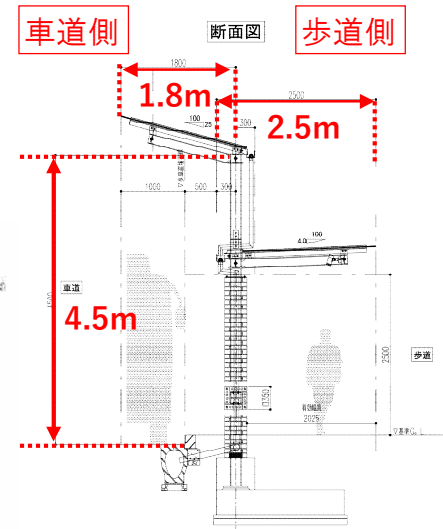


※歩行者2人並べる幅  
1.5m(0.75m×2)

※車いすの通行幅  
1.0m



滞留空間幅の考え方



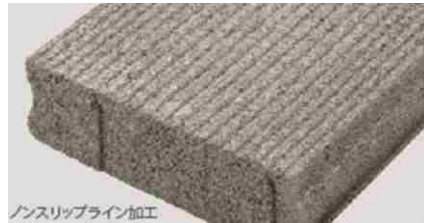
連続シェルター幅の考え方



# 歩道部舗装計画

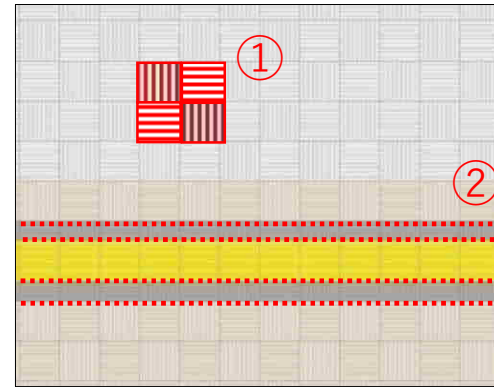
- バリアフリー対応であり、滑りにくく、振動効果のあるスリット形状の平板舗装とする。

スリット加工 滑り防止、振動の軽減



- 環境にやさしい遮熱性素材、透水性舗装材とする。
- 色彩については、全体的に自然なグレーとし、シェルター下は暖かみのあるベージュとする。
- 野田市駅前線から駅舎にかけて視覚障がい者誘導用ブロックを接続する。  
※「視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説」に準拠。

拡大図



①スリットの線を縦横交互に設置することで、飽きのないデザインとする。

②視覚誘導ブロックの両側に濃いグレーの平板ブロックを設置することで、基準である輝度比 2.0以上 を確保し、視認性を高める。

舗装平面図



# 照明計画

『道路照明施設設置機基準・同解説』及び  
『道路の移動等円滑化整備ガイドライン』に準拠し、防災性・防犯性に配慮した計画とする。

- 照明色は、歩道部を暖色系、車道部を白色系とし、ぬくもりを感じさせつつ、照度も確保する。

## 【水平面照度】

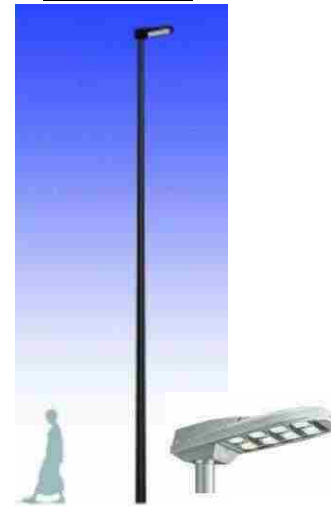
- 歩道部及び車道部ともに 20 ルクス程度を確保する。 ※照度を表す単位のこと

## 【均斉度】 ※路面の明るさのムラを示す数値のこと

- 歩道部では 0.2以上
- 車道部では 0.4以上を確保する。



車道照明



歩道照明



局所照明



# サイン計画

## ① 総合案内サイン

- 野田市駅から周辺施設等へのアクセスの向上のため、見やすくわかりやすいデザインとする。
- 利用者の利便性の向上とバリアフリーを意識し、音声ガイドのついた製品を採用する。

## ② 定点サイン

- 障がい者乗降場、バス乗降場、タクシー乗降場に設置する。
- 総合案内サインと整合のとれたデザインとする。

### サイン配置図

☆：総合案内サイン ○：定点サイン



総合案内サインイメージ



定点サインイメージ